福祉系学科校　連携授業カリキュラム案　（実証講座実績をもとに作成）

実施対象科目		**実施形式**	チームティーチング形式
実施対象学年	１年生／２年生／３年生	**実施場所**	各高校、琉球リハビリテーション学院、関連施設
到達目標	本カリキュラムは、高校段階において設定されている学年／科目／単元ごとの到達目標に沿い、その達成に向けた外部専門機関としての支援を行うことを想定している。高校段階全体としては、学年の進行に応じて以下のような学びの段階をイメージしている。 **１年生段階**：分野共通的な基礎理解を通して、福祉・医療・リハビリ分野への関心を高め、職業キャリア意識の形成を図る。 **２年生段階**：医療・福祉・リハビリ分野における専門職の役割や支援の視点を学び、基礎知識・基礎技能の定着と向上を図る。 **３年生段階**：学んだ知識・技能を応用し、実習や演習を通して実践力を高めるとともに、進路選択につなげる。 なお、キャリア教育や職業理解に関する内容については、全学年を通して横断的に実施することを想定し、各学校の教育課程に応じて柔軟に位置づけるものとする。		

主な連携授業の実施例

※学年や学校の実情に応じて調整可

No.	対象学年	科目	テーマ	授業の概要	主な実施時期	実施コマ数
1	１年生	コミュニケーション技法	対人関係の基礎となるコミュニケーションの理解	・コミュニケーション	5月	２コマ想定
2	１年生	介護福祉基礎	介護福祉の基礎としてのコミュニケーションとリハビリテーションの理解	・リハビリテーション(OT/PT) ・リハビリテーションの技法 ・コミュニケーション(SSTなど) ・障害者の生活支援とリハビリテーション（作業療法）	7月～11月	各２コマ想定
3	１年生	コミュニケーション技法	対人援助に活かすコミュニケーション技法の活用	・SSTなどのコミュニケーションスキル ・作業活動を用いたコミュニケーション	7月～12月	各２コマ想定
4	１年生	社会福祉基礎	医療・介護福祉施設の役割としくみの理解	・医療・介護福祉施設について	9月	２コマ想定
5	１年生	生活支援技術	生活支援における作業療法・理学療法の視点の理解	・福祉用具について ・リハビリテーション ・障害者の生活支援と作業療法 ・作業療法（体験学習希望） ・作業療法・PTの視点からみた介護 ・作業療法（コミュニケーション技術） ・PT視点からの介護技術（生活支援技術）	10月～12月	各２コマ想定
6	１年生	職業理解	福祉・保健・医療分野における職業理解	・職業理解について①②　福祉・保健・医療関係職についての概要	10月～12月	各２コマ想定
7	2年生	社会福祉基礎	福祉現場における多職種連携の考え方の理解	・多職種連携について	5月	２コマ想定
8	2年生	介護実習	介護実習に必要な対人援助コミュニケーションの活用	・対人援助職に求められるコミュニケーション技法	5月～7月	3コマ想定
9	2年生	介護総合演習	介護実習に向けた身体理解・介助技術・専門職理解の基礎	・実習対策　～人のからだについて～ ・移動介助について（車いす・杖） ・リハビリ関係の専門職(進路講話含む)	9月～12月	各２コマ想定
10	2年生	社会福祉基礎	福祉分野における専門職理解と多職種連携の理解	・リハビリ関係の専門職（進路講話含む） ・多職種連携について ・リハビリテーション技法紹介（アロマ）	9月～12月	各２コマ想定
11	2年生	生活支援技術	対象者理解とリハビリテーション技法の実践	・ビジョントレーニングについて ・コグトレについて ・対象者の理解（事前学習） ・リハビリテーション技法（デジリハ） ・施設見学　＊ ・施設見学振り返り　発表	7月～12月	各２コマ想定 ＊施設見学は5コマ想定
12	2年生	介護実習	介護現場におけるアセスメントの基礎	・介護現場（現場実習時）におけるアセスメント	11月	２コマ想定
13	2年生	コミュニケーション理解	自己理解・他者理解を通したコミュニケーションスキル	・コミュニケーションスキルとしての自己理解・他者理解	11月	２コマ想定
14	3年生	キャリア教育	多様な働き方と将来のキャリアを考える	・さまざまな働き方	7月	1コマ想定
15	3年生	生活支援技術	障害者支援における福祉用具とリハビリテーションの活用	・障害者の生活支援とリハビリテーション ・専門職の視点から見た介護支援技術 ・福祉用具と福祉のIT化について ・福祉用具とリハビリ（PT/OT）	9月～11月	各２コマ想定
16	3年生	生活支援と技術	医療・福祉現場における仕事と他職種理解	・医療福祉現場の仕事(他職種理解)	9月、10月	8コマ想定
17	3年生	介護実習	実習現場で求められる対人援助コミュニケーションの実践	・対人援助職に求められるコミュニケーション技法①②③	9月、10月	各２コマ想定
18	1、2年生	キャリア教育	働くことと生活を支えるお金の基礎知識	・労働と生活費に関する話	7月	1コマ想定
19	全学年	キャリア教育	医療・福祉現場の仕事と専門職の役割の理解	・医療福祉現場の職業紹介	7月	1コマ想定

総合学科校　連携授業カリキュラム案　（実証講座実績をもとに作成）

実施対象科目		**実施形式**	チームティーチング形式
実施対象学年	１年生／２年生／３年生	**実施場所**	各高校、琉球リハビリテーション学院、関連施設
到達目標	本カリキュラムは、高校段階における各学年・科目の到達目標に沿い、その達成に向けた支援を行うことを想定している。 実証講座の実施内容をもとに、学年の進行に応じて以下のような学びをイメージする。 **１年生段階**：自己理解やコミュニケーションを通して、社会や仕事への関心を高め、進路を考える基礎を育成する。 **２年生段階**：医療・福祉・スポーツ・健康分野に関する知識や視点を学び、心身の理解を深める。 **３年生段階**：学んだ知識や体験をもとに、実践的な学びを通して進路選択につなげる。 なお、キャリア教育や職業理解、健康・安全に関する内容は、全学年を通して横断的に実施することを想定する。		

主な連携授業の実施例

※学年や学校の実情に応じて調整可

No.	対象学年	科目	テーマ	授業の概要	主な実施時期	実施コマ数
1	1年生	キャリア教育	これからの人生とキャリアを考えるための自己理解	・夢にも見なかった幸せな人生を歩み続ける	4月	２コマ想定
2	1年生	総合的な探求の時間	自分を知り、相手に伝えるためのコミュニケーションとマナー	・コミュニケーション（自分を知ろう、伝えよう） ・マナー講座　＊	4月～6月	各2コマ想定 ＊は1～6コマ想定
3	1年生	保健体育	心の健康と精神疾患を理解し、予防と回復を考える	・脳と心のはたらき ・心の健康と精神疾患 ・精神疾患の予防と回復	6月～7月	各5コマ想定
4	1年生	産業社会と人間	社会と仕事を知り、進路を考えるための基礎理解	・ 科目選択に向けて①（ガイダンス室紹介／職業の業種を知る） ・心と体を整えるセルフマネジメント　＊ ・福祉社会って何だろう？　＊ ・高齢社会と対人援助職　＊ ・上級学校訪問　＊ ・Society5.0（アントレプレナーシップ）＊ ・プレゼン作成について　＊ ・企業訪問	4月～11月	各6コマ想定 ＊は各12コマ想定 *は各2コマ想定
5	1年生	キャリア・健康教育	現代社会における心の健康・リハビリ職理解・お金の基礎	・リハビリ職の説明 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防と回復 ・現代社会と健康（ディスカッション） ・金銭教育 ・金銭教育①使う編　②稼ぐ編	10月～12月	各1コマ想定
6	2年生	スポーツトレーニング	スポーツトレーニングにおける身体理解と実践的応用	・トレーニングについて ・トレーニングに必要なメディカルチェック ・トレーニングの実際 ・トレーニングの実技紹介 ・プレゼンバトル　デジリハ × トレメニュー ・サプリメントとトレーニング ・研究の方法について ・研究発表	4月～10月	各２コマ想定
7	2年生	スポーツ健康科学	スポーツと健康を支える身体・栄養・メンタルの科学	・スポーツトレーニング ・筋力トレーニング ・トレーニングの実際 ・熱中症　＊ ・障害(パラ)スポーツについて ＊ ・メンタルトレーニング① ・メンタルトレーニング② ・スポーツ栄養学講習　＊	4月～11月	各1コマ想定 ＊は各2コマ想定
8	2年生	社会福祉基礎	対人援助職に必要なコミュニケーションと福祉理解	・コミュニケーションについて ・コミュニケーション技術①② ・対人援助職の仕事内容と役割・魅力（COMの意義と役割） ・障害者支援の意義と方法（基礎知識OT） ・VR体験とコミュニケーション ・デジリハの理解及び体験 ・特別支援学校の児童に合わせたデジリハ体験のGW ・インクルーシブ保育と保護者支援の必要性 ・医療・福祉分野におけるアントレプレナーシップ　＊ ・琉リハキャリアスクール	4月～2月	各2コマ想定 ＊は4～コマ想定
9	2年生	こころと体の理解	命を守るための救急救命と心身の理解	・救急救命について、JTについて	9月	２コマ想定
10	2年生	社会福祉基礎	理学療法士・作業療法士の役割とリハビリテーションの理解	・理学療法士・作業療法士の仕事と役割について ・リハビリテーションとは ・理学療法士、作業療法士の仕事体験	6月～12月	各1コマ想定
11	2年生	生活支援技術	けがの予防と応急手当を含むリハビリテーション実践	・理学療法士の仕事内容、なぜ専門学校への進学が必要なのか、デジタルリハビリテーションの体験 ・① ケガをしやすい場面と部位　② それぞれの応急手当とテーピング方法【知識】　③ 応急手当とテーピング【実践】 ・スポーツの化学（OTの仕事内容、コグトレ体験、メンタルトレーニング）　＊	10 月	各6コマ想定 ＊は3コマ想定
12	3年生	こころとからだの理解	こころとからだの特性を理解し、支援につなげる視点	・認知症の理解、認知症高齢者の行動と支援者の役割について＊ ・デジリハ体験 ・ビジョントレーニング ・身体障がいについて ・精神・知的障がいについて① ・精神・知的障がいについて②	6月～10月	各２コマ想定 ＊は6コマ想定
13	3年生	スポーツＶ	自然環境を活かした海洋リハビリテーション	・海洋リハビリテーション	7月	２コマ想定
14	3年生	スポーツ健康科学	生活機能障害の理解と健康支援の視点	・生活機能障害の理解	7月	２コマ想定
15	3年生	介護実習	デジタル技術を活用した介護実践の体験	・デジリハ合同授業	7～10月	11コマ想定
16	3年生	「介護入門」 「介護総合演習」	介護の基礎理解と実践的学び	・カイゴ教室について① ・カイゴ教室について② ・介護教室	10月	各２コマ想定
17	3年生	こころと体の理解	救急救命を通して学ぶ心と体の理解	・救急救命について、JTについて	9月	4コマ想定

普通科校　連携授業カリキュラム案　（実証講座実績をもとに作成）

実施対象科目		**実施形式**	チームティーチング形式
実施対象学年	１年生／２年生／３年生	**実施場所**	各高校、琉球リハビリテーション学院、関連施設
到達目標	本カリキュラムは、高校段階における体育・スポーツ系科目の到達目標に沿い、その達成に向けた支援を行うことを想定している。実証講座の内容をもとに、学年の進行に応じて以下のような学びをイメージする。 **１年生段階**：スポーツに取り組む意義やモチベーションについて理解し、生涯にわたって運動に親しむ姿勢を育成する。 **２年生段階**：専門職の視点からスポーツを捉え、身体の使い方や健康との関わりについて理解を深める。 **３年生段階**：動作分析などの体験を通して、スポーツパフォーマンスを客観的に捉え、学びを自己の実践に活かす力を養う。 なお、生涯スポーツに関する内容は、学年を超えて繰り返し扱うことで、理解の深化を図ることを想定する。		

主な連携授業の実施例

※学年や学校の実情に応じて調整可

No.	対象学年	科目	テーマ	授業の概要	主な実施時期	実施コマ数
1	全学年	スポーツⅠ・Ⅱ	スポーツに取り組むためのモチベーション理解	・モチベーション	5月	2コマ想定
2	1年生	生涯スポーツ探究	専門職の視点から考える生涯スポーツの理解	・専門職の考える生涯スポーツ	1月	２コマ想定
3	2年生	生涯スポーツ探究	専門職の視点から考える生涯スポーツの理解	・専門職の考える生涯スポーツ	1月	２コマ想定
4	3年生	生涯スポーツ探究	専門職の視点から考える生涯スポーツの理解	・専門職の考える生涯スポーツ	10月	２コマ想定
5	3年生	スポーツⅠ・Ⅱ	動作分析を通して考えるスポーツパフォーマンスの理解	・VICONにて動作観察	12月	２コマ想定

キャリア実習　実施校　連携授業カリキュラム案　（実証講座実績をもとに作成）

実施対象科目		**実施形式**	チームティーチング形式
実施対象学年	１年生／２年生／３年生	**実施場所**	各高校、琉球リハビリテーション学院、関連施設
到達目標	本カリキュラムは、高校段階におけるキャリア教育や専門分野理解の到達目標に沿い、その達成に向けた支援を行うことを想定している。 実証講座の内容をもとに、以下のような学びをイメージする。 **基礎理解段階（主に前期）：**からだのしくみや運動・健康との関わりについて理解し、安全に活動するための基礎的な知識と意識を身につける。 **専門職理解段階（主に後期）**：医療・介護・スポーツ分野における専門職の役割や仕事について、体験を通して理解を深め、将来の進路や職業選択への関心を高める。 なお、対象学年については学校の実情に応じて柔軟に設定し、キャリア教育の一環として位置づけることを想定する。		

主な連携授業の実施例

※学年や学校の実

No.	対象学年	科目	テーマ	授業の概要	主な実施時期	実施コマ数
1	全学年	キャリア実習【前期】	からだのしくみを知り、運動と健康を支える基礎理解	・オリエンテーション「リハビリテーションってなに？」 ・骨について知ってみよう ・関節や筋肉について知ってみよう！ ・カラダを流れる血液「血圧、脈拍を測ってみよう！」 ・ストレッチ体験「カラダが柔らかくなったか感じてみよう！」 ・効果的な筋力トレーニングを知って、夏を乗り切ろう！ ・部活動で役立つインソール（足底板）とは？ ・部活動で役立つテーピングとは？ ・スポーツにおける応急処置RICEを学びましょう！ ・運動中に急に心肺停止したら…正しいAEDの知識を学びましょう！	5月～9月	各1コマ想定
2	全学年	キャリア実習【後期】	医療・介護・スポーツ分野における専門職理解と実践体験	・職業理解①～未来の医療・介護職像とは～（グループディスカッション） ・職業理解②～理学療法士、作業療法士～（実技有） ・職業理解③～柔道整復師、鍼灸師、トレーナー～（実技有） ・職業理解④～医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、介護士など～（実技有） ・筋トレ、ストレッチの最新知識と実践　（実技有） ・柔道整復師が実践する徒手療法（マッサージ）体験	10月、11月	各1コマ想定
3	2、3年生	キャリア教育	理学療法士・作業療法士の役割と仕事の理解	・理学療法士・作業療法士の職業紹介	11月	2コマ想定

年度・期	2025度　前期
学科・学年	作業療法学科　1年生
科目名	協働学習
担当	
単位数	

●学習目標

2年生は1年生を教え･育てる力を身につけ、1年生は聞く力を身に付け基礎知識を教わる。また、医療人として必要な他職種連携の基礎・そして患者様との関わり方の基礎となるコミュニケーション能力を獲得する。

●学習方略（講義計画）

（第1回）	オリエンテーション①
（第2回）	オリエンテーション②
（第3回）	協同制作①
（第4回）	協同制作②
（第5回）	新入生歓迎大会①
（第6回）	新入生歓迎大会②
（第7回）	カルタ①（骨）
（第8回）	カルタ②（筋）
（第9回）	骨学① 口頭試問対策
（第10回）	骨学②口頭試問対策
（第11回）	評価学練習①～関節可動域測定・バイタル測定・形態測定～
（第12回）	評価学練習②～関節可動域測定・バイタル測定・形態測定～
（第13回）	評価学練習③～徒手筋力検査・上肢機能検査・腱反射～
（第14回）	評価学練習②～徒手筋力検査・上肢機能検査・腱反射～
（第15回）	まとめ

年度・期	2026年度　後期
学科・学年	作業療法学科　２年生
科目名	キャリア教育
担当	
単位数	

●学習目標

就職後の作業療法士としてのキャリアを考えるとともに、就職活動の準備を進める。
そのうえで、ケーススタディで実践力も身につける。

●学習方略（講義計画）

（第1回）	作業療法士としてのキャリア
（第2回）	10年後のキャリア設計
（第3回）	就職活動準備
（第4回）	就活PDCA
（第5回）	ケーススタディ①（対象者全体像の把握から計画立案）
（第6回）	ケーススタディ②（治療計画立案）